

わが町のきらっとさん!

世代間交流の一環として七夕の笹飾りを作り、子どもたちとの
触れ合いを楽しんでおられる様子を紹介します。



短冊の飾りつけ

アネシス公民館で、毎週
金曜日10時から15時まで、
毎回15人から22人の参加で
いきいきサロンが開かれて
います。
世代間交流事業の一環と
して「餅つき」「昔の遊び」
なども行われているこのこ
とで、6月は約1ヶ月かけ
て七夕祭りの短冊作り・笹
の切り出しなどの準備はい
きいきサロンのメンバーで

子どもたちとのふれあい
アネシス町内会



公園に立てられた笹飾り

大きな笹飾りはみんなで
飾り付けをし、3本をマン
ション内の公園に立て、小
さな笹は子どもたちが各
自、家に持ち帰れるよう配
慮がされています。七夕祭
りにはマジックシヨウなど
催しが用意され、みんな
盛り上がりつつある様子を伺
い、これからも続けていた
だきたいと願っています。

さされています。笹は「平
成の森」に軽トラックを
借りて取りに行かれるそ
うです。

議員の寄附は 禁止されています。

夏祭り・初盆・結婚・出産・饞別
などの寄附はできません。

DVDを貸し出します!

町議会を撮影したDVDを貸し出します。
議会初日と最終日および一般質問を
DVDに収録しています。希望される方は、
図書館・役場4階の議会事務局にお越し
ください。

お知らせ 次回の定例会は 9月7日予定

傍聴に是非お越しく下さい。
議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。
ぜひお越しく下さい。車椅子席もあります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。
TEL 935-1011 FAX 935-7070
議会事務局は町役場4階です
メールアドレス:gikai@town.shime.lg.jp

表紙写真の説明・写真募集

志免中学校より体育会写真を提供していただきました。
皆さまからの写真提供をお待ちしております。



▲みんなで力を合わせて(志免中体育会)

6月定例会

第3回 議会報告会 議会の見える化	一歩ずつ前へ!	2~3
危険廃屋対策条例	可決	5
委員会視察…現場から学ぶ		8

第3回 議会報告会開催

議会の見える化 一歩ずつ前へ!

志免東中学校校区

7月7日(土) / 19時～20時30分
シーメイト研修室 参加人数45人



志免中学校校区

7月8日(日) / 19時～20時30分
町民センター 視聴覚室 参加人数33人



報告会のようす

議会報告会で出された意見・要望は持ち帰り、議会運営委員会で協議、全員協議会に諮り、結果報告を議会だより、ホームページに掲載いたします。

24年度当初予算を中心に、予算の概要・主な事業・委員会報告を議員全員で2班編成。役割を分担し、パワーポイントで説明。

主な質問

- 自主防災組織づくりについて
- 石橋台公民館新築への経緯
- ごみ減量とリサイクルについて
- 政務調査費の報告書について
- 桜丘低区配水地更新工事関係（住民への安全対策）
- 中の坪公園改修に伴う子どもたちへの配慮
- 協働提案事業のすすめ方など。

詳しいことは次号で報告します。

条例



危険廃屋

志免町危険廃屋等の管理に関する条例

町内に管理不全な状態で放置されている危険廃屋等の対応をすること
で、日常生活における町民の安心安全を確保し、安全快適に暮らせるま
ちづくりの推進をはかるもの。
平成24年8月1日施行

全員賛成で可決

主な議案

- 石橋台公民館建設工事**
手狭で災害時の避難所として不安との要望があり、公園用地に新設。公民館跡地は公園として活用。
6394万5千円
工期24年7月1日～25年1月31日
（株）小柳技建
全員賛成
- 志免西小学校耐震補強大規模改造・増築工事**
6億7200万円
工期25年3月29日
アルシス・荻原特定建設工事共同企業体
全員賛成
- 志免東小学校耐震補強大規模改造工事**
3億7779万円
工期25年3月25日
飯田・因特定建設工事共同企業体
全員賛成
- 志免中学校体育館耐震補強大規模改造工事**
2億1315万円
工期25年1月31日
（株）岩堀工務店
全員賛成



請願（要望・陳情）・意見書

意見書	提出者	内容	採決結果
（議員提案） 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める	丸山議員	金正恩政権発足後、北朝鮮の治安並びに経済状況は極めて不安定な状況にあり、拉致被害者の安全が侵害される危険性も憂慮される。全ての拉致被害者を救出されるように強く求める。	全員賛成で採択。 国へ意見書提出

平成24年度一般会計補正予算(第1号)

全員賛成で可決

215万1千円増 総額105億1,215万1千円

補正の主なもの



調査される橋梁

- 橋梁維持管理事業 300万円**
橋梁長寿命化調査委託料(24年度44橋) (うち国支出金137万5千円)
- 情報化推進事業 520万円**
平成22年税制改革に伴う電算システム改修業務料
- 生徒指導等総合推進事業 77万6千円**
臨時職員賃金(ヤングサポーター)講師謝礼等 (県支出金 77万6千円)

24年度特別会計補正

- 国民健康保険 全員賛成**
3,900万円増 総額 46億1,000万円
(国民健康保険料3,900万円を一般会計より赤字充用補填するもの)
- 下水道流域関連公共事業 全員賛成**
120万円増 総額 9億4,323万3千円
(低地のため、公共下水道へ排除が困難な箇所、ポンプ施設を設置。) (低地6箇所のうち1箇所の助成。)

第2回 定例会

6月定例会は、8日から19日までの12日間の会期で開かれました。
議案13件・意見書1件を可決。
一般質問は6月11日から13日の3日間10人が行いました。

町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

総務文教常任委員会

保育ママの調査・研究を

保育行政

待機児童の解消に向け要請していた「保育ママ制度」への取り組みについて、子育て支援課が福岡市子育て支援課で実施しているグループホーム形式の現地視察を行う。

南保育園で行っている一時預り保育10人、特定保育15人(1日定数)となっているが、現在一時預りが2・3人の利用状況なので申込が多い特定保育を20人に増やす。

認可保育園に分園の相談もしているが難しい状況である。届け出保育施設、認定こども園の活用などいくつかの案を考えるとのことである。もう一歩踏み込んだ対応を要請している。

自主防災組織

県の補助金は30町内会の6割の結成がないと400万円満額が出ないので今年度中の立ち上げを積極的に進めるよう要請していたが、自主防災組織設立は現在13町内会の届け出である。補助額は158万円となり、補助対象の資機材配付の準備を行っている。災害時の備蓄関係の計画については、備蓄が必要だとの認識は持っているが、備蓄場所等の問題も有り実現に至っていない。

協働事業提案制度

志免町みんなの参画条例施行に伴う新規事業で、住民活動団体育成支援事業、



県補助による防災グッズ(メガホン・LEDライト)

協働事業提案制度実施に向け要件整備を行う。

補助金の決定はプロポーザルで行い、住民が入った判定委員会が審査、事業の成果指標など目標値を定め、年度末に活動報告を義務付ける。人選方法、既存の補助交付団体との兼ね合いなど、初めての事業推進への苦慮はうかがえるが、特に判定委員会の公平性の担保をすべしと要請している。

接種率を高めよう

MR(麻疹風疹混合ワクチン)2期(年長児)、3期(中学一年生)、4期(高校3年生)の接種率は、94%・76.7%・82.3%となっている。今年度が経過措置の最終年度になっているので、3期については中学校と連携して必要性を周知し、接種率を高めるように要請した。

事業系ごみ処理のあり方

事業系ごみ処理について、収集業者からの処理手数料が適正か。個人契約の実態調査の検討、調査を要請。

厚生建設常任委員会



営業用指定袋

内水対策

志免田富地区道路冠水対策工事。田富下深地区、志免城戸地区の道路冠水被害の軽減を図る。

障害者の法改正

粕屋中南部障害児(者)自立支援協議会を設置することになり、機能が果たせるように推移を見ていく。

介護保険法改正

地域包括支援センターが

第2回議会報告会で出された要望審査

- 望山荘トイレの洋式化
7台の内の5台はすでに洋式化、和式利用の要望もある。利用者の意見を調査するよう要請。
- 風呂の利用時間の延長
4時以降の利用は少人数、シーメイトとのすみ分けで対応が出来るか調査をする。

福祉課に設置され、3職種で配食利用者や紙おむつ給付者の実態調査を行っている。

志免炭鉱ぼた山対策特別委員会

3町で構成するプロジェクトチームの素案は、既設のボタ山に登る階段を利用した登山道並びに展望台の整備をする等の内容。当委員会は先進地の研究、補助事業の研究、粕屋側からの登山道の設置、貴重な樹木等の保護など意見を付けて承認。6月下旬の代表者会で審議され、7月の総会に諮られる。

福岡都市圏広域行政調査特別委員会

5月17日に行われた、3町正副委員長会議の議題は次のようにまとめられた。
●電算システム、被災者支援システムの勉強会を開いて検討。
●志免・須恵コミュニティバスの乗り入れは将来的に宇美町も参加。
●不登校通級のしーずうみについて連携をとる内容で調査。
●観光資源、史跡等の活用を図る。

議会広報特別委員会

広報No.63号は2月に行われた議会報告会のアンケートを考慮し作成した。以前より検討課題であった一般質問をよりわかりやすくするため、各議員割当を半ページから1ページにする。

追跡 あん質問は どうなったの？

徴収体制の充実

現在、国民健康保険税、住民税、固定資産税、水道料、保育料の徴収率アップが課題である。一日でも早く徴収体制の充実を図るべき。



税収アップは人海作戦で税収担当課を設置し、税及び料金の全てを徴収するシステムを早急に構築する。



24年度から、町税や上下水道料金など、専用の納付書を使って全国コンビニエンスストアで支払うことができる。

手数料は土・日・夜間でも無料。



コンビニでの支払い

認知症キャラバン・メイトを養成し、サポーターを広める

1人暮らし、老夫婦のみ世帯の増加、介護サービスの量的確保と質の向上が課題とされ、地域住民で支えあう取り組みが求められる。認知症キャラバン・メイト養成し、サポーターを増やしていくこと。



県が実施するキャラバン・メイト養成講習に参加できるような環境をつくっていく。



キャラバン・メイト養成講座を実施。(志免町登録者40人)
キャラバン・メイト連絡会を発足。サポーター養成講座を受けられた店舗にはステッカーを配布する。今後サポーター養成講座を各種団体等で実施していく。

委員会 研修報告

現場から学ぶ

発達障害への支援 厚生建設常任委員会

目的
開所の運営状況

日程
5月21日

視察先
・ 柚の木学園(PK2)

PK2は志免町在住の小学1・2年生の学童期発達支援事業で、学校生活を安定させる力をつけるため、さまざまな困り感を解消する事を目的として平成23年4月開所。サービス内容は療育、相談で発達支援、

家族支援、地域支援が行われています。
登録者は現在11人で課題はパワフルキッズ卒園時19人のうち5人の登録しかない。
利用料や送迎の問題や福祉施設に通うといった抵抗感もあるとのことでした。
スタッフは社会福祉士3人、精神保健福祉士1人、臨床心理士1人の有資格者で熱意を持って対応されていました。
まだ、始まったばかりであり、関心を寄せながら見守っていききたいと考えています。



専門スタッフによる説明

教育環境の充実を

総務文教常任委員会



広がった職員室(志免中学校)

目的
耐震補強・大規模改造等工事関係等工事状況

日程
5月30日

視察先
・ 志免西小学校・志免中学校
・ 志免西小学校・志免中学校

志免西小学校・志免中学校耐震補強大規模改造等工事関係の状況を視察しました。
西小学校は、廊下が広く改築され、狭かった職員室や校医室が広くなり開放感がありました。
また、トイレの床は、従来の水を流して掃除をする方式から、衛生的な水を流さないドライ方式の床に改修。LEDで自動感知の照明を使用するなど節電に配慮されていました。
調理室・実験室は子どもたちが使いやすいよう整備がなされていました。
志免中学校では相談室の増設・生徒の増加に対応できるよう特別教室等の工夫がなされ、生徒の昇降口も1カ所になり防犯効果もあるとのことでした。

ズバリ町政を問う

本会議の議事録はホームページで検索できます。図書館・各公民館でも閲覧できます。

警戒区域の住民へのフォロー

答弁／法律による支援はない。

吉田 土砂災害防止法に基づき土砂災害警戒区域に指定されたことにもない、昨年の8月23・24日に行われた住民説明会に出席された方々にお話しを伺ったところ、唐突に「あなたの家（土地）は警戒区域ですよ」と言われ、困惑しなすすべのない方もおられる。「手の施しようも無く途方に暮れている」、町民の方々のケア、フォローは、どう考えているのか。

総務課長 土砂災害防止法において

ては、支援あるいは、ケアと
言う事は想定されていない。
吉田 今回、警戒区域に指定された方が、貴重な財産である家屋、土地を売却される場合、警戒区域内である旨について、重要事項説明を行う事が義務付けられた。これは資産価値の減少では。

町長 今回警戒区域に指定された皆さんは困惑されていると思うが、行政としては慎重に対応せざるを得ない。



吉田 大作 議員

吉田 警戒区域に指定されたのに固定資産税の評価額が今まで通り、と言うのはおかしいのではないかと。固定資産税の減額の検討等、

何らかのケア、フォローは考えられないか。

総務課長 この法律の要件では減免の予定はない。

吉田 昨年の説明会後、警戒区域の指定から外れた所がある。解除になった事を皆さんに知らせたのか。

総務課長 ホームページや防災マップで情報提供している。

吉田 桜丘南公民館（桜寿荘）や、桜丘5集会所、今年度新築する石橋台公民館は、イエローゾーンにかかっている。対策は考えているのか。

町長 今後よく検討し、何らかの方策を考えたい。



イエローゾーンの傾斜地



学力は県平均より上か下か

答弁／答えられない、向上への努力

牛房 小中児童生徒合わせて4200人は全国町村中一番の人数。平成23年度に実施された小6・中3年生対象の学力テストの結果について。

①町の小中児童生徒の学力レベルは。
②学力向上の取組みは。以上2点について問う。

学校教育課長

①の小中児童生徒の学力レベルについては、小中学校とも平成22年度に比べ向上している。尚学力テストの始まった平成19年からの5年間の学力テストの結果は、一進一退の状況下にある。これ以上のごとは発表できない。

牛房 テストの結果が県平均点よりも上なのか下なのかも答えられないとのこと。県平均に及ばないと考える。

子どもの教育問題特に学力向上は志免町全体の課題でありながら、町民への情報発信は殆どなされていない。事実を公表し町全体で取り組むべき問題である。

②の学力向上の取組みについて問う。

教育長

学力向上の対策としては、平成24年度より小中6校が「学力向上推進校」の県の指定を受け現在スリーアップ運動（授業力・学力定着力・家庭学習力のアップ）を通し学力向上に取り組んでいる。

町長

学力向上のため学級補助員（24人）の支援に年間2800万円以上の町費を投入、今後もハード面ではしっかり支えていく。費用対効果が学力向上に現れるよう学校は頑張らせて欲しい。

牛房

学力向上のため3点について要望する。
①学級補助員の配置人数を子ども数に比例して配置を。
②先生の授業準備時間が十分取れるよう配慮を。
③授業時間の確保のため土曜日登校を積極的に取り入れを。



卒業式（志免西小学校）



牛房 良嗣 議員

瓦礫処理は全国一体となつて

答弁／お互い国民として支援すべき

大西 昨年の10月と今年4月石巻市と女川町視察をした。「百聞は一見にしかず」、震災ガレキの現状を見て大ショックを受け、一議員として何とか現状を訴えたいという思いから取り上げた。現場は高さ20メートル、長さ数百メートルにも膨らんでいる山が何カ所もあった。地元ではこれを「山脈」と呼んでいる。その山からは粉塵が舞い飛び異臭が鼻を突き、大量のハエが発生している。さらに肥大化した瓦礫の山は自然発火して何回も消防車



ガレキの山脈（石巻市）

が出動している。学校の横や仮設住宅のそばにもある現場の責任者は「どんな支援よりもがれき処理の支援を」と訴えている。

私は全国、九州が一体となつて震災がれきの広域処理を支援すべきと思う。

町長 お互いに日本国民として支援すべきであり瓦礫処理は復興の象徴でもある事から一緒になつて取り組んでいかなければならない。



大西 勇 議員

災害時要援護者支援の充実を

答弁／地域の方と共に検討していく

福祉課長

今後地域協力者と協議して進めていきたい。

大西 まず支援を希望する方は無条件で手を上げてもらい要援護者台帳に載せ、それから町内会や民生委員、社協と支援者を誰にするか決めていく。こうなれば手を上げやすいのではないかと。いずれにしても当事者の気持ちになつて進めていってほしい。

町長 今後分析をし問題があるところを検討しながら、町内会長等にも相談させていただき、地域は地域で助け合うという体制整備に努め検討したい。

【その他の質問】
経済対策について

大西 防災マップに要援護者支援台帳が載っている。その申請の過程で支援者となつてもらおう2人の方に印鑑まで挿して申請しなければならぬ。高齢者や弱者の方は人に迷惑をかけたくないという思いから、その時点で申請ができなくなつてしまふ。

継続的に震災復興の支援を

答弁／お互い国民として支援すべき

丸山 東日本大震災に対して志免町はどのような支援をしたのか。

総務課長

国からの要請で職員6名を短期派遣した。義援金として町の予算で460万円、一般から5月末現在で1202万4190円集まっている。

丸山 3・11から1年3ヶ月が経ち、被災者は忘れられるのが怖いと言っている。義援金もいいが、産業の支援と観光の支援が必要。東北の逸品を常設で販売するとか東北ツアーの情報提供などができないのか。



宮城県女川町被災状況

町長 行政の仕事として積極的に関わるのは難しい。県の町村会では退職した職員で能力のある人たちを派遣できないか考えている。

丸山 アイデアを出して支援の仕方を考えていただきたい。

地域力を高め減災・防災を

答弁／地道に取り組んでいく

丸山

学校は子どもたちが日中大半を過ごし、災害時には避難場所となる。耐震化で建物はずぶれなくとも、天井材や照明器具の落下等の被害が発生し、非構造部材の耐震対策が認識された。点検はしたのか。

学校教育課長

天井板等、改造工事の中で窓ガラスは外側の部分が改修された。修課題だ。

丸山

通信手段、発電、食料備蓄はどうなっているのか。

学校教育課長

学校防災マニュアルで整えていきたい。

丸山

自主防災組織の結成や要援護者支援プラ



丸山 真智子 議員

町の発展はメトロ福岡構想で
答弁／実現ならば町の将来は明るい

古庄 志免町の将来像について伺うが、合併が実現しない現在、志免町の自治運営上大事な広域行政事業は、ゴミ処理や水道など現在37件にも及び、将来的にも福岡市や近隣自治体と協調しなければならぬ。そのような中、道州制の議論と連動するように高島福岡市長が福岡都市圏17市町による都市圏「メトロ福岡構想」の推進を発表した。福岡空港の拡充もあり、このエリアが全体的に発展していくためには、この構想も一つの選択肢では是非推進



古庄 信一郎 議員

なり、アクションを起こすべきだ。

町長 広域行政の喫緊の課題にはゴミ問題がある。メトロ福岡構想は正式に何っていないが、志免町のよくな小さな町は広域行政なくしては生きていけない。今迄、福岡市を核として、行政課題に取り組んできた。福岡市と一体となった行政運営ができれば、志免町の将来は明るいと思う。



太陽光発電住宅

省エネ隊、節電の日の制定を
答弁／「節電隊」を編成して頑張る

古庄 電力不足対策として、福岡県は14%の節電目標を掲げ、各自治体に要請をされた。しかし志免町では明確な節電目標値も、目新しい節電対策も無いよう職員による「省エネ隊」とか、庁舎・職員を挙げ、一体感を持って取り組み、その目標を皆で達成した時の達成感は何かに繋がる。

町民の節電意識向上のためにも、「節電の日」を制定し、公共が先頭に立って推進すべき。石炭で繁栄して来た志免町として、再生エネルギーの推進、特に太陽光発電を公共施設に積極的に投入すべきである。

町長 節電は国を挙げての重要課題です。「節電隊」を編成、スローガン等を作成し広報にあたる。

家庭用太陽光パネルの設置問い合わせもきており、目標を達成できるよう庁舎、町を挙げて頑張るので、町民の皆様にも是非同調頂きご支援を賜りたい。

入札の有り方

答弁／町外業者の事務所は課題



大熊 則雄 議員

大熊 志免町では、町外業者は志免町内に事務所を置かなくても届けはできるのか。

経営企画課長

町内に本社、支店営業の実績がある町内業者を優先的に選考。町内業者数が工種や設計金額によって定めた指名業者数に満たない場合に町外の業者を選考。

大熊

近隣の町においては町内に事務所を設置する義務付けがある。志免町では事務所を置かなくてもよいのか。他町の業者に発注するといふことは、町内雇用の問題だけでなく、税金にも関わる大

事な問題。支店・営業所を設置させるべき。

経営企画課長

規定では町内に本社、支店営業所が在る業者としていないが、内容により必要としない。

副町長

近年景気低迷により地元業者が窮地に立たされている事は認識している。町内業者の育成を図るため、公共事業ばかりでなく、業務委託・物品の調達も町内業者を優先的に選考している。

ひとり暮らしの見守りは

答弁／見守体制の構築をする

大熊 ひとり暮らしの高齢者の見守りについて、町行政としてどのように指導しているのか。

福祉課長

高齢者福祉施策の中でも特に重要課題と考えている。郵便局員が配達時に声かけ等を行う生活状況確認事業、配食サービス事業のお弁当配食時の安否確認。

しかしすべてのひとり暮らしの見守りはできていない。町内会・地域での見守り体制の構築が必要。

大熊

ひとり暮らしの見守りにには郵便局と契約しているが対象は5人だけか。

福祉課長

高齢者等生活状況確認事業について委託契約を行なっている。この事業は郵便配達時に声かけ等を行う。



郵便配達による見守り

中南部地域振興事業の進展は

答弁／イベント等でPR普及させる

堤 福岡市長の「メトロ福岡構想、国・地方特に九州では道州制の動きのある中で、広域行政でなければやっていけない」と町長は述べられたが、粕屋中南部地域振興事業の進捗状況は。
①かすや交流農園活き活き健康プロジェクトはどのような状況か。吉原農区の方は、農業活性化を目指す千葉にも行かれた。是非進めて欲しい。
②かすやを学ぶ健康ウォーキングは、健康課か地域交流課が窓口になってリーダーを育成し、道案内して下さる人た

ちが必要。
③人・モノ・風景PRプロジェクトは冊子ができたら6町の住民に報告し、1つになって取り組むべき。
④農家の方にフェイスブック等の使い方を教え、自分たちの力でまちを活性化しようとしていく。料飲組合の方々とつながってブランド化を。
町長 都市化が進み、農地がなくなる。農業からの恩恵は多面的機能がある。指導ができないという課題もあるが、吉原農区で基盤整備をしている。可能性が。提案していく。

経営企画課長

①久山・粕屋・宇美・須恵町で182区画、119人が利用。
②24年度は6町でイベント等を通じて普及させる。
③お宝百選のPR事業として冊子策定。109件を県や町の



堤 久美子 議員



二宮 美津代 議員

二宮 町が所有する建物、土地の維持管理、保全など一括管理する基礎データ作成の検討はどこ迄進められているのか。

経営企画課長

これ迄にも質問に出されていますが、一括した集約や公表は行っていない。

二宮 小さな町での営繕課設置はできないので各課連携することだが、各施設の管理、保全計画は立てられたか。

経営企画課長

連携はとられていない。将来を見据え施設の修繕、改修の

計画を策定し、財政運営に反映させることは重要なことと考えている。
二宮 前回の回答と同じで重要なことと考えるが何故取り組まれていないのか。
町長 整備しなければならぬが、そこまですべてではない。課題を解決すべきと思っている。

二宮 公有財産台帳には、所在地、面積、所得年次しか記載されていない。トータルコストなどを含め基本的データを作成し全庁的な判断がある。

町長 24年度中に各施設の整備計画の全庁的考えを定める。利用状況、維持管理、改修など台帳整備とデジタルデータ化をしたい。まず先進団体を研究し、25年度には一括した施設整備計画を策定したい。

都市整備課長

④今後検討課題として農協に打診することは可能。

HP・広報・情報誌と連携し地域が誇れる宝としてPRする。



交流農園

堤 文化歴史の継承の取り組みは。

都市整備課長

歴史資料館の建設計画策定のため、検討委員会を立ち上げる。志免の歴史の継承は歴史資料館を核とする。

文化歴史の継承への取り組み

答弁／歴史資料館を核とし進めたい



志免町公有財産台帳

孤立死防止へ情報提供の取り組み

答弁／新聞各社との協定を実施する

二宮 周囲に気づかれないままに亡くなる孤立死防止に、電気、ガス、水道検針や新聞配達など情報提供を委託する手だては考えられないか。

二宮 個人情報共有への対応として、条例などの検討を。

町長 現在福岡県で新聞各社と協定を結び、通報する仕組みが協議されている。電気、ガスなどの検針は1・2ヶ月の間隔なので、早期

町長 東京中野区の先進事例もあるが、よく調査研究をし今後の課題としたい。

公共施設白書の作成と公表を

答弁／25年度に施設整備計画を策定する

町内会活動課題検証し充実へ
答弁／地域の特色生かすように支援

助村 防災・防犯・福祉活動・青少年育成など町内会の役割は大きい。少子・高齢化、都市化が進みその機能が果されているのか。運営に苦慮することはないのか。町内会、公民館活動の実態や課題を検証する必要がある。町内会へ未加入、脱退の非会員への加入の働きかけは。

地域交流課長

転入者には、住民課の窓口で町内会加入促進のパンフレットを渡している。

助村 非会員には回覧板は回らない。町の情報は広報誌以外にはなく、町内会はかわらない。町は非会員に対してのフォローはどう考えるのか。

地域交流課長

行政から出向いて加入促進までは行っていない。

助村 町内会活動の中で問題点、課題や悩みの把握は。

地域交流課長

主に未加入世帯への対応など。

社会教育課長

公民館の改修、高齢化に伴うスポーツ事業への参加者集め、子ども育成会の継続的な事業展開が難しい（単年度で役員交代の為）



世代間交流 餅つき（桜丘南町内会）

地域交流課長

地域のことは地域でということが望まれる。

助村 町内会長の方も新任が必要。また活動には、人的支援や資料の提供も必要と思うが。

町長

町内会から課題や要望など伺い、行政と一緒に調査研究を行なう。その地域の特色を生かした町内会活動になるように支援していきたい。



助村 千代子 議員

末藤

東大医科学研究グループが科学誌「ネイチャー」電子版に論文を発表した。グループはウイルスの出現をいち早く察知することや、効果的な対策の必要性を指摘している。

今年に入って、国立感染症研究所は、全国の医療機関を受診したインフルエンザ患者は推計で173万人と発表。今シーズンは5年ぶりA香港型のインフルエンザウイルス感染が流行し、09年のピーク時を大きく上回った。この新型インフルエンザ対策をどう考えるか。

健康課長

志免町では国と県の行動計画に従って町の行動計画を作っている。基本方針としては、新型インフルエンザを発生させない、持ち込まない。新型インフルエンザ発生後は住民の健康被害を最小限にし役割分担を決めている。



公共施設に置かれた自販機

節電対策

答弁／広報で節電対策をお願いしている

末藤 節電対策として14%の節電要請があったと言われているが、14%の根拠は何か。

環境課長

全国的に原動力発電所の停止に伴う節電対策で昨年までの状況からすると、原発に依存していたものが不足するだろうという予想の上にそのようなパーセンテージが出ている。

末藤 環境エネルギー政策研究所は、政府の推計を過大に見積もって需要を固定化していると指摘している。日本の自動販売機は521万台あり、全体を合わせると70万キロワット原発一基分に相当する。

志免町の68号線だけでも84台の自販機が設置されている。志免町全体で何台の自販機があるのか。少なくとも公

総務課長

節電についての協議を行い、自販機内の照明を消す、冷却装置をピーク時にカットするなどして対策をとる。停止は考えていない。

新型インフルエンザ対策は

答弁／町の行動計画を作っている



末藤 省三 議員